



秋季恒例企画

曝涼展 掛軸の世界

2024
11.12 → 12.7
火 土

◀過去の展示風景

陶磁器小企画

煌めく釉薬

2024 2025
11.12 → 3.1
火 土

斉藤 勉作《天目釉鳴門大花器》▶



十八親和アートギャラリーでは、11月12日から季節展示室と絵画展示室1、ホワイエに於いて秋季恒例企画「曝涼展～掛軸の世界」を、陶磁器展示室2に於いて陶磁器小企画「煌めく釉薬」を開催いたします。

秋の恒例企画「曝涼展」では、所蔵品の虫干しを兼ねて掛軸の一般公開を行っています。江戸時代の南画家・椿椿山、長崎県出身の日本画家・小林観爾などの山水画や花鳥画のほか、木庵性瑫、即非如一、良寛和尚による一行書など約40幅をご紹介します。

また、陶磁器小企画「煌めく釉薬」では、弊館の多彩な陶磁器コレクションの中から、釉薬の美しさが際立つ、孔雀釉、塩釉、天目釉による未公開作品5点をご紹介します。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行ってまいります。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

斉藤 勉作

さいとう・べんさく：有田の奥川忠右衛門窯で修業。1964年に日展入選以降、日本伝統工芸展、一水会展などで入選を重ねる他、国際陶芸展、フランス国際芸術サロン展など国際展への招待多数。木の葉の模様を映し出した独自技法「染付木の葉流し」など移ろう自然をテーマに作陶。現在、大分県佐伯市に一土窯を構える。日本工芸会正会員。

十八親和アートギャラリー

鑑賞 無料

【開館時間】10:00～16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分